
迷宮の出口

遊楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

迷宮の出口

【Nコード】

N4679A

【作者名】

遊楽

【あらすじ】

…俺はいつも思う。出口はどこにあるのか？何がしたいわけでもなく、何かをしなくちゃならないわけでもない。でも、このままではいけないのはわかっているんだ。…だから、出口を探している。

繰り返さ

れる毎日。

見つからない答え。

出口を探している俺…。

『眠い』

そう思いながらも、俺は目が覚める。

…正確に言うところ寝入りをやめる。

寝ようと努力するのだが、目をつむるだけで意識は現実にある。

『…っ

らない また昼寝になるな』

この生活習慣を治す

のは簡単だろう。ただ、夜寝て昼は起きていればいいんだから…。

…でも、できない。

なぜ？ と聞かれても答えられない。

わからないから…。

昼寝は約四時間ぐらい。

よくそれだけの睡眠時間で保っているなと思っている。

今は春休み。

しかし、実感はない。

学校は通信制。

…いい加減でもかまわない。

単位だけとって、あとは休み。

一般的には楽といえるだろう。

だが、俺は疲れる…。

普通の公立高校に通っていたときと違う疲れ。

自分だけが置いていかれる不安、自分だけが進んでいない焦り、自分だけが止まっている感覚…。
疲れる…。

『おはよう…』

そう思い、俺は両親に視線を向ける。両親もあいさつする、声をだして。両親は俺のことをどう思っているだろうか？母さんは俺が気付かないと思っているのだろうか、母さんの深いため息を聞いていることを…。父さんは知っているのだろうか、父さんの俺を見る目を…。

俺は出された朝飯を食べ、また自室へ行き、本を読む。物語は夢と同じ。努力しなくても、幸せな気分になれる。最近は、夢はみてないが…。現実から、目を背けるとわかっていて繰り返す行為。本を楽しむためではなく、現実から逃げるために使う。

…眠くなった。

俺はしばらくして、掛け布団をかけて寝た。

。

夢など見

れない。

ただ、目を開くと夕方。
ぼやける目をこすって、体を起こす。

そして、自問自答。

『俺

は何をしている。

何がしたい。

行動をおこせ。

どんな　　？』

俺は考えるのをやめるしかない。

意味がないのはわかっているから。
答えはいつも出ない。

…少し早い晩飯。

味はうまいのかもしれない。

だが、俺には毎日と、全然変わらない味に思える。

テレビを見ながら、飯を食う。

…おもしろくない。

隣で、母さんが笑っている。

ふっと思った。

『俺は最近笑っているだろうか

?』

『。』

』

俺

は決めた。

笑うために…。

自分を喜ばすため、自分を楽ませるため、行動することを…。

その材料を探すことを…。

そして、その場にいる両親に顔

を向ける。

「。…俺、大学に行くよ!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4679a/>

迷宮の出口

2011年1月27日15時05分発行